

●デザイン部門
西宮芸術文化協会賞



『さよなら にんぎょ うみにかえる』
岡部秀子(大学院修了)

●洋画部門 佳作



『二人のモデル』
秦弘明(卒業生)

●洋画部門 入選



『6月の朝』大城弥久
(アートセラピー研究室4年)



『深遠』吉原冬織
(洋画研究室2年)

●入選



『思いのゆくえ』館石美和子(大学院修了)



『おひるね』橋田真季(大学院修了)



『途方もない願い』池尻篤志(宝塚大学 助手)



『月ノ夜』田中達也(大学院修了)

TOPICS **DOLL EXPO 2012 大人形博**

■会場:グランドプリンスホテル新高輪 大宴会場 飛天
■会期:2012.8.4(土)~8.27(月)

●入選



『水曜日の憂鬱』小野結貴花(洋画研究室4年)

TOPICS **2012兵庫県展(第50回)**

■会期:2012.8.4(土)~8.25(土)
■会場:兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー

●佳作 『蝶葬』小野結貴花(洋画研究室4年)



●入選

- 『対話』高田寛久(洋画研究室4年)
- 『意思~私はここにいる~』前原涼輔(洋画研究室4年)
- 『跡』小田さくら(洋画研究室3年)

宝塚大学 造形芸術学部 アート・デザイン学科

TOPICS

■公募展 入選情報

第86回 国展(国画会彫刻部)/DOLL EXPO 2012 大人形博
第58回 全関西美術展 /第62回 西宮市展/第50回 兵庫県展

■卒業生の活動

高校野球の優勝盾・メダルの原型制作
卒業生が携わるアートスペース ギャラリー1
世界女流画家ビエンナーレ参加

TOPICS **第86回 国展(国画会彫刻部)**

●本展覧会において高田治さんが会員推挙されました!!



『YES』高田治(大学院修了/準会員)



写真:高田治さん(アトリエにて)

- 会場:会期 東京展 2012.5.2~5.14 国立新美術館
- 会場:会期 名古屋国展 2012.5.29~6.3 愛知県美術館ギャラリー
- 会場:会期 大阪国展 2012.6.12~6.17 大阪市立美術館

●高田治さんからのコメント

この度、国展会において名誉な会員推挙をして頂き、身の引き締まる思いであります。
何も分からないまま彫刻を造り続け7年が経ち、あっという間に27歳。現在は、金属だけに限らず様々な素材で、色々なジャンルの物を制作しています。

●入選

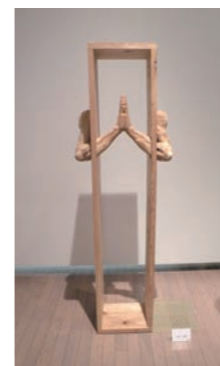


『泥の男』堀拓馬(大学院修了)



『失恋のシティ・ブ・サイド』
榎下町祥吾(大学院修了)

●準会員出品



『祈り』安川弘造(卒業生/準会員)



『futi』西村大喜(卒業生/準会員)

●会員出品



『太陽の道』合田のぞむ(助教/会員)



『サルタヒコ』西村公泉(教授/会員)

森野政順さん(卒業生)が高校野球の優勝盾とメダルの原型を制作。

“静かな森のアトリエで 今日も新たなアートが生まれる。”をテーマに、奈良県川上村に建てられた芸術家村『匠の聚』にアトリエを構え、制作活動を行う彫刻家森野政順さんが、第94回全国高等学校野球選手権大会(主催:朝日新聞社・日本高等学校野球連盟)の地方大会の優勝・準優勝盾とメダル、全国大会の参加章、全国大会の優勝・準優勝盾とメダルの原型制作を担当されました。デザインは捕手が待ち構える本塁めがけて一心に駆ける走者を描いています。



地方大会優勝盾



地方大会準優勝盾



森野政順さんと地方大会盾・メダルの原型

デザインは、勝とうとする気持ちがぶつかり合う象徴的な場面として選びました。走者を描いたのは、選手一人ひとりがメダルを受け取った時、自分自身のシーンとして思い起こせると考えたから。「投手は限られた選手しか経験しないが、走者は誰もが経験する」「夢に向かって打ち込める今の時期は、長い人生の中でも貴重な時間。是非大切に過ごしてほしい」と森野さんからコメント頂きました。

匠の聚
<http://www.takuminomura.gr.jp/index.php>
 森野政順さんのホームページ
<http://www10.atpages.jp/morino/>

世界女流画家ビエンナーレに卒業生の宓冬瑩さんが参加されました。

[HER PRESENCE IN COLORS] 6月21日～28日、世界女流画家ビエンナーレがベトナムホーチミン美術博物館で開催されました。世界から22ヶ国より221人の女性画家がホーチミンに集まり、それぞれ多彩な芸術作品を発表しました。本学の卒業生宓冬瑩(ミー・トンイン)さんも、日本代表の一人として参加されました。



展示会場



図録・賞状・カップ



ホーチミン美術大学で研究会を行い、昨年ミー・トンインさんが企画した被災地への芸術支援「希望の花」のプロジェクトも紹介されました。

● 宓冬瑩さんからのコメント

この機会にベトナム美術館参観、美術大学で研究会も行き、当地の陶器工場で陶器に絵付け創作も行き、とても意味深い芸術の旅でした。ベトナムの高い美術レベルに感心しました。お洒落なデザインはどこにでも見つけることができます。



各国代表受賞式 右から5番目:宓冬瑩さん

『世界国際女画家協会』とは、平和、友好、美の世界を追求して20年の歴史がある組織です。今回の世界女流画家ビエンナーレにおいて、日本分会設立が決定。ミー・トンインさんが理事会より日本分会代表に委任されました。2014年はモンゴル、2016年はイタリアで開催予定。これを機にご一緒に世界の舞台へ飛び出しましょう。興味がおありの方は冬冬芸術文化交流協会へご連絡ください。<http://www.midongying-art.com/>

卒業生が携わるアトリエスペース ギャラリー1



■ ギャラリー1とは

ギャラリー1は、当初『若く無名の絵描きやアーティストなどを応援していこう!』『発表や仕事の場を見つけよう!』『一緒に探してみよう!』という目標で作られたNPO「芸法」に集まったメンバーが中心となってスタートしました。そのメンバー達が、アートに関心を持つ人や、美術作家、また作家でなくても、多くの人が集まり交流できる拠点を持ちたいと考え、神戸三宮の海岸通にある近代建築、チャータービルにギャラリー(兼カフェ、アトリエ、イベントスペース)を作ることに決めました。メンバーには宝塚大学(旧宝塚造形芸術大学)の洋画コース卒業生が多く、小國陽佑、八木智弘、高田雄平、二見正大がその運営に関わっています。

ギャラリー1は2012年4月1日からオープンし、第1回目の企画展は宝塚大学彫刻コースの卒業生、高田治さんの個展を開催しました。その後、元宝塚造形芸術大学教授の嶋本昭三先生に才能を見出された、アールブリュット詩人、友原康博氏の展示や、宝塚大学洋画コースの卒業生、大澤悠さんの個展等、数々の宝塚大学関連の卒業生が企画・

展示に使用してくれています。また、大学関係以外にも、7月の企画展では、吉本芸人で漫才コンビ「プラスマイナス」の一人である、岩橋良昌さんの絵画の個展を開催しました。

この夏の展示企画報告

■7月24日～8月5日まで、嶋本先生が率いた美術家の団体AU)のグループ展。

■8月10日～26日まで、服飾デザインからスタートして金属加工やコンセプトアートまで横断的な作風を見せる 迫一成氏の個展。

■8月22日～27日まで、宝塚大学洋画コースの在学学生、吉原冬織さん・堀野晶子さんの二人展等が、貸しギャラリー展示室にて開催。



<住所> 650-0024 神戸市中央区海岸通9番地 チャータービル2F・3F
 <営業時間> ギャラリー: 12時～20時、カフェ/バー: 12時～23時 不定休
 <電話> 078-392-2880 <FAX> 078-392-2881
 <mail> info@gallery-ichi.com
 <URL> <http://www.geiho.com/gallery-1/>
 <Facebookページ> <https://www.facebook.com/Gallery.ichi>
 <Twitter> 代表者: 田村孝次 @geiho_musashi 事務局: 二見正大 @ftms02



レンタルスペースの情報

■貸しギャラリー《小部屋》
 6日間 45,000円
 火曜搬入・水曜から会期・翌火曜搬出が基本設定で、展示日が少なければ日割りで、学生割引も用意しております。

■制作できるアトリエスペース(3階)
 1か月15,000円、年間契約で月13,000円に割引となります。シェアアトリエ方式。定員10名まで。

空間面積や展示設備、レセプションパーティー実施などについてはお問合わせ下さい。また、カフェ、バーも併設しており、飲食もできます。高田雄平さんのカレーが名物です。御利用心よりお待ちしております!